

広い視野でものを考えるきっかけに



日本大学経済学部長
手塚 広一郎

年間留学プログラムの目的の1つは、英語のコミュニケーションスキルを伸ばすことです。しかし、それにとどまるものではありません。短期間の旅行や語学研修とは異なり、年間留学プログラムは、海外に長期間滞在し、大学の講義を受けることになります。長期にわたって英語中心の生活を経験することで、これまで「あたりまえ」と考えていたことが、そうではないと気づくでしょう。さらに、最近では、ウクライナをはじめとする国際情勢の変化、エネルギー価格の高騰、円安など、海外留学に影響を与えるような様々なリスクも発生しています。したがって、留学に際しては、これまで以上に物事を熟考し、自らの責任で行動する必要があるのです。

留学して直面する課題に対して、自ら考え、解決し、乗り越えることで得られる成果は、英語のコミュニケーションスキルの獲得以上のものがあります。人によっては、今後の人生観を変えるほどの大きな経験になります。これは、まさに自主創造の実践に他なりません。このような貴重な機会は常にあるわけではありません。大学生の今だからこそチャレンジをする意義があるのです。卒業後に「あのとき留学しておけばよかった」という後悔がないように積極的にチャレンジしてください。年間留学プログラムは、英語のコミュニケーション力を高めるだけでなく、貴重な経験を得ることで、広い視野でものを考えるきっかけを与えてくれるものと確信しています。

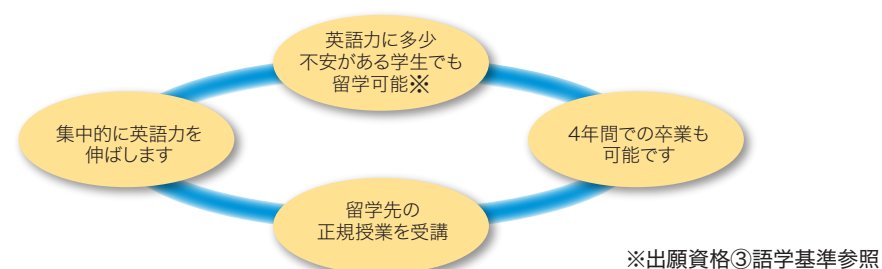
「年間留学プログラム」の目的とは

留学というと、何か特別な人だけに許されるもの、と思っていませんか。ネットで留学について調べると、海外経験、英語力、意見を言える姿勢など、ハードルが高そうな条件(?)がいろいろと出てきます。経済学部の「年間留学プログラム」は、そんな留学を手が届くところに感じてほしいという思いから開発されたプログラムです。海外経験のなかった学生もたくさんこのプログラムに参加し、「海外経験」という言葉では表せないほどの貴重な経験をもちかえりました。英語力に不安のあった学生が、日常会話はもちろんのこと、しっかり自分の意見を言えるようになっています。

年間留学プログラムは、留学先の大学の語学教育センターや経済学部の先生方にも多大なるご協力をいただき、経済学部生にふさわしいプログラムとしてアレンジしたものです。このリーフレットを手にとった皆さんは、留学に向けて、小さな一歩を踏み出したことになります。その一歩をさらに進めて、留学にチャレンジしていただくことを期待しています。経済学部では、皆さんのチャレンジを応援しています。

日本大学経済学部 国際交流委員会委員長 藤野雅史

「年間留学プログラム」の4つの特徴



日本大学経済学部教務課国際交流担当
電話：03-3219-3343
Email：intercom.eco@nihon-u.ac.jp

令和8年 グローバルに活躍するために英語で可能性を広げよう！ 年間留学プログラム募集要項



マウントロイヤル大学 (カナダ・カルガリー市)

令和8年4月上旬～令和8年12月下旬

- ◆募集人数：15名（最低実施人数10名）
- ◆概算費用：約490万円

マウントロイヤル大学は、国立記念公園や、ロッキー山脈の大自然と隣接している街にあり、カナダ・アルバータ州・カルガリーに位置するカナダ中部を代表する国立総合大学で、高等教育機関としてはアルバータ州で最も歴史のある大学です。英語教育専門機関も充実し、世界各国から外国人留学生を受け入れて、充実した英語教育を実施しています。



- ※日程の詳細については、現在相手大学と調整中です。
- ※最低実施人数に満たず、プログラムが実施できない場合があります。
- ※費用については下記の費用が含まれます。
 - ・現地授業料(3学期分)・航空運賃(成田又は羽田-各大学最寄の空港間往復)・宿舍費、食費、その他の生活費等・現地大学での医療保険・海外旅行保険・24時間対応危機管理サポート
 - ・カナダ査証取得代金
- ※上記記載費用は、為替レートの変動等により大きく変わる可能性があります。



日本大学経済学部



マウントロイヤル大学（カナダ・カルガリー市）
令和8年4月上旬～令和8年12月下旬

1 募集説明会

- ① 令和7年9月27日(土) 13：00～ 7号館2階講堂
- ② 令和7年10月11日(土) 13：00～ 7号館2階講堂
- ※①と②は同内容です。①又は②のどちらかに、保護者(保証人)と一緒に参加してください。

2 出願資格

- 次の出願資格を満たす者。
- ① 本学部の学生。ただし、外国人留学生は対象外。
 - ② 次の単位を修得している者。
 - 1年生：履修届を提出
 - 2年生：30単位以上
 - 3年生：60単位以上
 - 4年生：90単位以上
 - ③ TOEFL, TOEIC, 英検等の英語のスコアレポートを出願時に提出できる者。**ただし、令和6年4月以降に受験した語学検定試験で取得したものに限りです。**なお、受験してからスコアレポートが発行されるまで時間を要するので、注意してください。
(スコア最終提出期限：令和7年10月30日(木) 17：00まで。そのほかの出願書類は令和7年10月17日(金)まで。)
 - 語学基準(目安)：TOEFL-iBT 45点以上
TOEFL-ITP 450点以上
TOEIC 450点以上
英検 準2級以上 等
 - ④ 本学部が定める留学誓約書に記載された内容を遵守できる者。
 - ⑤ 出発までの期間及び現地で英語能力を向上させる強い意思がある者。
 - ⑥ 指定する宿舎で共同生活を営める者。
 - ・大学寮(マウントロイヤル大学)

3 出願書類(詳細は学部HPを参照)

- ① 願書
- ② 留学計画書
- ③ 成績証明書
- ④ TOEFL等のスコアレポート(「2出願資格」③を参照)
- ⑤ 誓約書

4 出願期間

- 出願の際はまず「**事前webエントリー**」(本学部ホームページに掲載)を行ってください。「**事前webエントリー**」を行った後、**出願書類を下記出願先へ提出してください。**
- ① 事前webエントリー
令和7年10月6日(月)～10月9日(木)
 - ② 願書等提出
令和7年10月10日(金)～10月17日(金) 17時

5 出願先

経済学部教務課(本館1階)

6 選考方法

学業成績、書類審査及び面接により総合的に判定。

7 面接日時

令和7年11月8日(土) 10時00分～

8 合格発表

令和7年11月末以降に本人宛て通知する。

9 合格者オリエンテーション

令和7年12月5日(金) 18時00分～
※開催場所は、該当者に通知します。

10 単位認定について

留学先大学で一定以上の評価を得た科目については、最大30単位(英語科目10単位まで、専門科目20単位まで)が認定され、本学部の卒業要件に算入することができます。

11 帰国後の語学検定試験スコアの提出

帰国後にTOEFL-iBTの受験をして、指定された期日(令和9年1月下旬)までにスコアレポートを提出してください。提出のない場合、単位の認定をすることができません。

12 本学部の授業料の取り扱いについて

留学期間中の経済学部授業料(年間)、施設設備資金、後援会費及び校友会費は、全額免除となります。ただし、「留学在籍料」12万円を徴収いたします。

13 海外旅行保険及び24時間対応危機管理サポートへの加入(出発前に日本で加入)

参加者全員が大学指定の海外旅行保険及び24時間対応危機管理サポートに加入が必須となります。

14 留学先大学指定の保険

日本で加入する海外旅行保険のほか、現地大学が指定する保険に加入が必須となります。

15 その他出願に伴う条件

- ① 留学中、以下のようなリスクや影響について十分理解をし、学生及び保護者(保証人)が共に留学を強く希望する場合のみ応募してください。
 - ・感染症等
 - ・ウクライナ情勢
 - ・紛争
 - ・治安悪化(暴動・テロ等)
 - ・自然災害
 - ・ストライキ
 - ・事件(犯罪)、事故(交通事故等)
 - ・物価高騰
- ② 留学中は自己責任において行動できる者。
- ③ 感染症等による重篤化の恐れがある基礎疾患等現病歴及び既往歴のある者は、生命を第一優先とするため、本プログラムの出願はできません。
- ④ 留学渡航前、留学途中の中止又は帰国命令等両大学の決定に従える者。また、その際に発生するすべての費用は自己負担である事を了承できる者。
- ⑤ 航空券については、大学指定の旅行代理店で大学がまとめて購入する事を了承できる者。
- ⑥ 全員一緒に渡航し、一緒に帰国する事を了承できる者(現地集合・解散は行いません)。

16 出願及び問い合わせ先

経済学部教務課国際交流担当
〒101-8360 東京都千代田区神田三崎町1-3-2
本館1階
電話：03-3219-3343
Email：intercom.eco@nihon-u.ac.jp